

グローバルな事業展開

J-POWERグループは、これまでに培ってきた知見と技術力を活かして海外でも新たなビジネスに取り組んでいます。低炭素社会の実現に向けて、世界の持続可能な発展に貢献してまいります。

海外事業

▶ 海外発電事業

1990年代後半から、自らの資本や技術を投入して発電事業に参画する「海外発電事業」に取り組んでいます。現在、タイ・米国・中国を中心とする7つの国・地域で、グループ全体の設備出力の約2割に相当する367万kW(持分出力ベース)の発電設備が稼働中です。

さらにタイでは大規模なIPP*2件を含む9件の新規発電プロジェクトを進めると同時に、インドネシアでは海外において当社

初の高効率石炭火力案件の開発を進め、アジア市場における有力な発電事業者としてのポジションを確立しています。

今後は、国内事業で培った石炭火力発電の技術と知見を活かし、発展著しいアジア地域を中心にさらなる事業拡大を目指し、海外発電事業を国内事業と並ぶ当社事業の柱とすべく、取り組みを強化していきます。

* Independent Power Producer : 独立系発電事業者



カエンコイ2発電所(タイ)

▶ 海外コンサルティング事業

海外において、電源開発や環境保全のための技術協力に関する「海外コンサルティング事業」を1960年代より開始し、その実績は、63の国・地域で累計333件に達しています。

海外発電事業実績

(2012年3月末現在)

● 営業運転中	7カ国/地域	29件	持分出力367万kW
○ 建設中・計画中	3カ国	11件	持分出力460万kW

海外コンサルティング事業実績

63カ国/地域 333件

